



災害訓練実施後、恒例の集合写真を撮影しました。晴天に恵まれたものの寒空の元でしたがコロナ禍を想定した有意義な訓練となりました。(12月4日)



独立行政法人 国立病院機構

村山医療センターニュース

理念

患者さんの視点に立ち、良質で高度な医療を提供します。

基本方針

- 患者さんの権利と意思を尊重します。
- 安全で優しいチーム医療を提供します。
- 倫理を重んじ高度で先進的な医療を提供します。
- 地域医療連携の促進を図ります。
- 骨・運動器疾患の臨床研究を推進します。
- 職員は研鑽に励み、健全な経営に努めます。

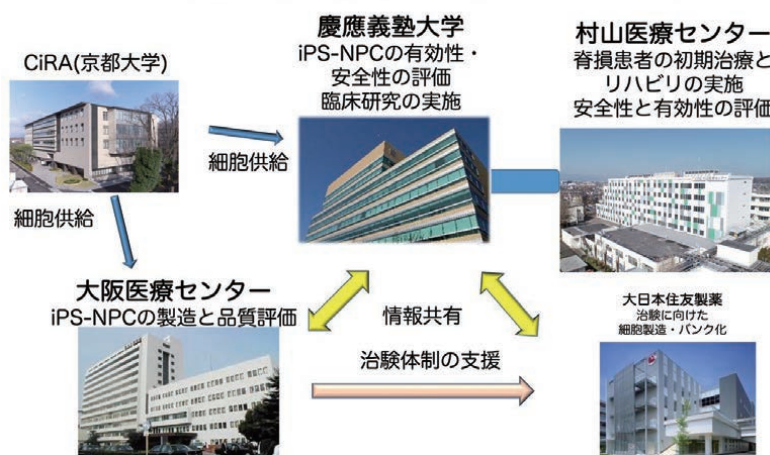
脊髄損傷に対するヒトiPS細胞由来神経幹細胞移植の臨床治験が世界で初めて慶應義塾大学病院で実施されたことが発表されました



向かって左から谷戸病院長（村山医療センター）、松本病院長、岡野教授、中村教授（慶応大学） 2022年1月14日記者会見

本研究では慶應義塾大学を中心として、大阪医療センター、大日本住友製薬が連携しています。京都大学 iPS 研究所（CiRA）から供給された臨床グレードの iPS 細胞から誘導された神経幹細胞が脊髄損傷患者に移植されました。今後は、村山医療センターで引き続き移植後の有効性や安全性評価を含めた経過観察とリハビリテーションを継続いたします。

iPS細胞の臨床応用を目指した研究体制



脊髄損傷、iPS細胞を用いた再生医療という言葉はこれまでもメディアにたびたび登場していますが、そもそも脊髄損傷とはどのような病気で、また iPS 細胞治療はどのようなものなのでしょうか。

～脊髄損傷～

脊髄損傷とは外傷などにより脊椎（骨）に囲まれている脊髄（神経）が損傷することです。脊髄は脳と接続しており、脳幹を通じて脳から伝達された指令を手や足に伝達する役割や

手や足の情報を脳に伝達する役割を持っています。

脊髄が損傷することでその伝達がうまく伝わらず、手足の運動、感覚の麻痺や自律神経障害が起こります。本邦でも約 10 万人以上の脊髄損傷患者がおり、毎年約 4000-5000 人の患者が新たに発生しています。近年では転倒などの軽微な外傷を契機に発症する高齢の脊髄損傷患者の増加が指摘されています。

集学的医療の進歩により重度の麻痺をかかえた脊髄損傷患者でもその生命予後は一般の方と変わらないようになってきました。しかしながら、有効な治療が存在しないため、リハビリテーションで、残存機能を活用することで ADL の改善をはかるとというのが現状の治療の限界でした。このような状況を打開するために、損傷した脊髄の再生をめざす研究がすすめられてきました。

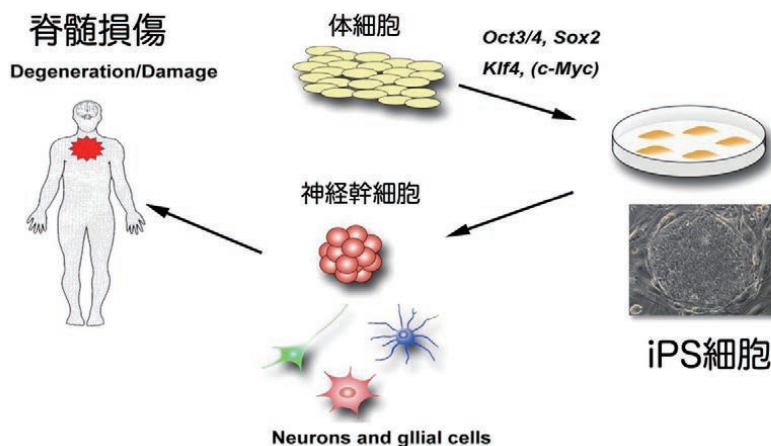
長いあいだ「脊髄を含む成体哺乳類の中樞神経系は損傷を受けると二度と再生しない」と信じられてきましたが、近年の基礎研究の著しい進歩により中樞神経損傷でも適切な環境を整えは再生することが明らかになってきました。

～ iPS 細胞由来神経幹細胞～

Induced pluripotent stem cell (iPS 細胞) は 2006 年に京都大学の山中伸弥教授らにより樹立された細胞で、成熟した体細胞に 4 つの初期化遺伝子 (Oct4, Sox2, Klf4, c-Myc) を導入することで作成されます。体細胞が初期化(リプログラミング)されることで、神経や筋肉、臓器といった様々な細胞に分化する能力を持つ細胞 (多能性幹細胞) です。

本研究でも、この iPS 細胞を神経の元となる神経幹細胞 (iPS 細胞由来神経幹細胞) に誘導し、これを移植しています。これまで、マウスやサルの亜急性期脊髄損傷モデルに対する iPS 細胞由来神経幹細胞移植はその治療効果が確認されており今後の臨床応用が期待されています。

今回の臨床治験の結果、つまり脊髄損傷患者に対するヒト iPS 細胞移植の安全性や有効性の評価は世界中が注目しています。



iPS細胞を用いた脊髄損傷に対する再生医療

脊髄損傷は重症度が高く、本邦のような高齢化社会では患者数の増加の一途を辿っていますが、村山医療センターのように数多くの症例数を扱っている病院は全国でも数施設にとどまっています。

当院では、再生医療についても豊富な知識を持ったスタッフが多く、その治療の前後におけるリハビリテーションやその安全性や治療効果についても、当センターから情報発信を行うことで、iPS 細胞を用いた脊髄損傷治療の実現に寄与したいと考えています。

骨粗鬆症による脊椎圧迫骨折の低侵襲治療

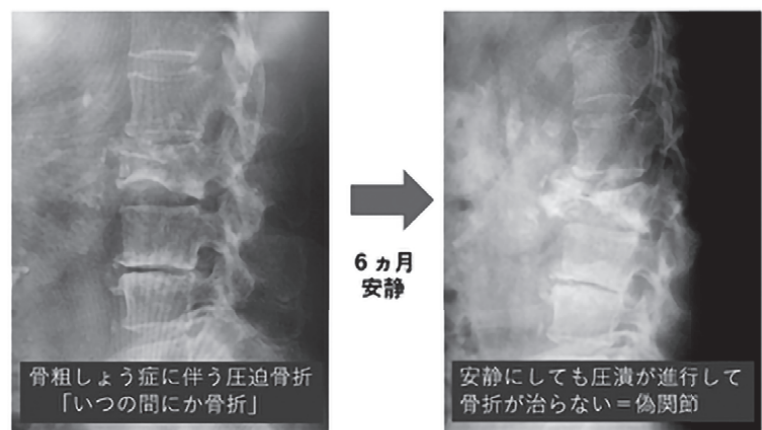
村山医療センター 脊髄再生治療研究室 藤吉 兼浩

超高齢化社会（平均寿命が男性81.4歳、女性で87.6歳：2020年厚生労働省集計）を迎えた日本において、健康寿命の維持・増進はすべての人々に取って非常に大切なことです。特に、脊椎は体の屋台骨であり、脊椎の健康を維持することが健康長寿に繋がると言っても過言ではありません。厚生労働省の国民生活基礎調査（平成25年）の結果を見ても、男性・女性の自覚症状の第1位、第2位は腰痛と肩こりです。つまり腰や頸などの脊椎に関連した症状に悩む方が非常に多いということが分かります。脊椎に関する疾患には多岐にわたりますが、年齢を重ねると増えてくる代表的なものが腰部脊柱管狭窄症と骨粗しょう症による脊椎圧迫骨折です。これらの病気は早期に発見し適切な治療を行わないと、症状が長引いたり、手遅れになってしまうことがあります。



村山医療センターでは、地域の皆様の脊椎の健康の維持を通じて、皆様に健康長寿を目指して頂きたいと考えております。当センターにおいては、骨粗鬆症検査や脊椎に関する単純X線、CT検査、MRI検査などを積極的に行い、脊椎の総合的な診断を行います。その上で、治療の適応があれば、内服薬、外用薬などの薬物療法や日常生活指導などの保存的治療を行います。必要があれば、ブロック注射や入院加療も行うことができます。これらの治療により、改善が得られない場合は脊椎専門医による手術療法を行います。最近では高齢者の骨粗鬆症性の圧迫骨折に対する低侵襲の経皮的椎体形成術（ballon kyphoplasty=BKP）が注目されており、当院でもこの治療を受けることが可能です。BKPとは、脊椎圧迫骨折によってつぶれてしまった椎体の中でバルーンを膨らまして、できる限り整形した後、骨セメントを充填させて「椎体」を安定させ、痛みをやわ

骨粗しょう症による脊椎の圧迫骨折（腰椎圧迫骨折）の例




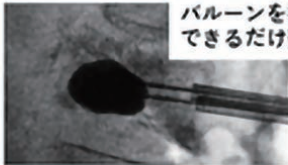
6ヵ月間 安静にしても痛みが続いて治らない・・・

らげる手術法です。脊椎圧迫骨折を起こすと、症状の強い場合には寝たきりを余儀なくされ、リハビリがなかなか進まないことがあります。また骨粗鬆症のために圧迫骨折が治らない（偽関節と言います）場合もあり、半年経っても起きて満足に生活できない方もいます。骨折が契機となって、寝たきりになったり、寿命を縮めたりするケースも少なくありません。そのような患者さんに対して、BKPを行うことは非常に効果的です。全身麻酔での手術ではありますが、非常に低侵襲で患者さんの疼痛を取り除くことができ、早期に日常生活に復帰することを可能にします。もちろん、骨粗鬆症の治療をBKP後にしっかりと継続的に当院もしくはかかりつけ医で経過観察をしていただくことが頂くことが重要になってきます。

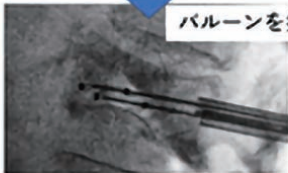
このように、村山医療センターでは、脊椎に関して最先端の診断・治療を行うことができます。地域で開業されている先生方のお力をお借りしながら、地域の皆様の「脊椎」の健康を通じて、皆様の健康寿命の維持・増進に貢献してまいりたいと考えております。

経皮的椎体形成術 (Balloon Kyphoplasty)

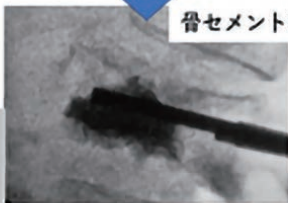




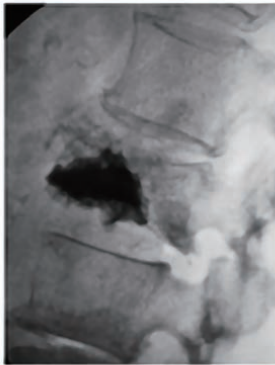
バルーンを挿入
できるだけ整復



バルーンを抜く



骨セメント注入



翌日から歩行リハビリ可能！

痛み軽減！！
(骨粗しょう症の治療は必要です)

圧迫骨折によって「寝たきり」になってしまう危険性を防ぐために最近では早期から行っています

村山医療センターはオリンピックを目指すパラアスリート「荒武優仁さん」を応援しています。脊髄損傷と戦う荒武さんのこれまでの軌跡を3号にわたり掲載いたします。是非ご覧いただき、みなさまの記憶にとどめていただければと思います。

●●● パラリンピックを目指す荒武優仁さんその1 頸髄損傷と戦う ●●●

車いすラグビーでパラリンピックを目指す荒武さんのプレイを初めて見たのはコロナ禍前の2019年12月。2020年東京パラリンピック代表選手入りを目指す、お台場パラアリーナでのチーム練習だった。

2016年、工作中的の事故により頸髄損傷（けいずいそんしょう）で車いすの生活に。当院の藤吉兼浩医師が主治医だったことが荒武さんとの出会いのきっかけだ。



● パラリンピック 車椅子ラグビー

最初に驚いたのは、パラアリーナの空気。生き生きと選手たちが躍動する姿は、私のパラスポーツという先入観を吹き飛ばした。健常者アスリートと勘違いしてしまうほど、そう、純粹に競技に打ち込む選手たちの姿にただただ魅入られた。

● 荒武さんの障害

障害を負った直後の話を聞いてみた。

荒武：2016年、障害を負った直後、首の神経を損傷して、呼吸ができませんでした。幸い、一命をとりとめました。直後は手も動かすことができませんでした。介護を受けて何とか生活するようになる状態でした。今でも、鎖骨から下あたりの感覚がなくて…腹筋、背筋、あと胸筋も一部感覚がありません。普段の生活には工夫が必要ですね。



● 殺人球技（マダーボール）と呼ばれる

パラアリーナでは車いす同士がぶつかり合う衝撃音が鳴り響く。車いすラグビーは車いす競技で唯一、車いす同士のぶつかり合い（タックル）が認められている競技だ。競技者同士のタックルは、激しい体当たりで車いすが跳ね上がるほど！かつては殺人球技（＝マダーボール）と呼ばれていたことにも納得だ。競技用の頑丈な車

いすに乗って、選手が激しくぶつかり合うシーンはまさにラグビーそのもの。見る者を圧倒する競技者同士のパワーとスピードに興奮するばかりだ。

●コロナ禍によるパラリンピック延期、そして再起

2020年3月に2020年パラリンピックの延期が決定される。この頃、荒武さんに話を聞いてみた。

パラリンピック延期についてですが

荒武：チームで来年に向けて練習を始動させたいのですが、コロナが落ち着くまではなかなか難しいですね。当初はがっかりすることもありましたが、むしろ自分自身を見直す良い機会でした。車椅子ラグビーを続けるためにも生活や収入を整えることも大事ですから。

具体的には？

荒武：ひとつは仕事面でのスキルアップ。選手生活を続けるためには、収入も大事ですから。テレワークに慣れてきたので、余った時間を使って新しいスキルを学んでいます。

車いす子ラグビーについて言えば、がっかりもありましたがチャンスとも考えています。

来年のチャンスを逃さないように自主トレーニングのメニューを組み立てています。自宅でする筋力トレーニングも取り入れていますよ。

生活や練習、大きく変わったと思うのですが

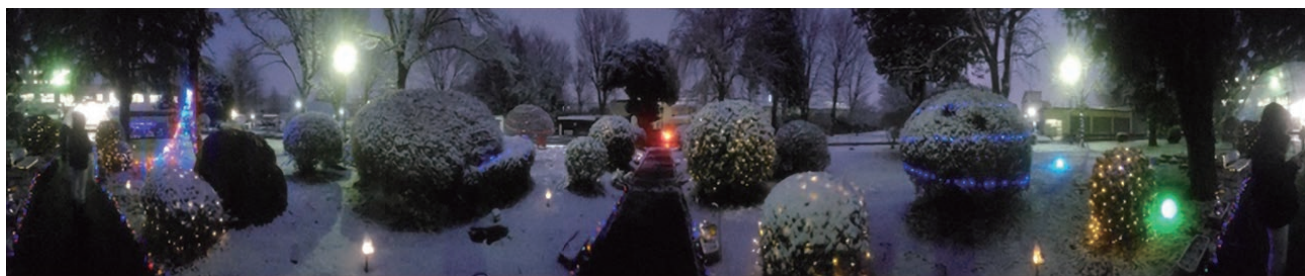
荒武：車椅子ラグビーは体育館で行うチームスポーツなのでチームでの練習は自粛しています。

話を伺う最中も笑顔で、「落ち込んでいられない、逆境をチャンスに」、そんな気持ちが伝わってくる。最後の荒武さんの言葉が印象的だった。

荒武：よく寝て、よく食べて、手洗いうがいをしましょう！



～夜に輝く村山イルミネーション～



地域医療連携室 関根 千晴

令和3年12月22日に村山医療センター玄関前ロータリー・西側広場に冬の夜空に光輝くイルミネーションが点灯いたしました。

村山医療センター広報委員会では、毎年「患者さんやスタッフが楽しめる」「心が癒される」をコンセプトに企画を立て取り組んできました。2019年には村山音楽祭、2020年にはフォトコンテストを実施し、どちらも患者さん、職員にとっての癒しとなりました。

今年のコロナ禍でも何かできることがないか『患者さんや地域の皆様に、ほんの少しでも癒しと笑顔を提供することができれば・・・』と、担当スタッフ一同で検討を重ね、【村山イルミネーション】の着工となりました。

イルミネーションの作成にあたってはまず業者に作成見積もりを依頼しましたが、理想とするイルミネーションを作ろうとするとかなりの高額となり、また装飾範囲も理想とはほど遠いものであったため断念。そこで医療連携室、庶務係で話合いの結果、自分たちでデザインをし、必要な素材を購入する方法としました。紆余曲折があったため、発注をか



けたのがまさにクリスマスシーズンと重なってしまったため、素材が全て集まったのがクリスマスの1週間前。事前に電気士に電源工事を依頼していたためすぐに作業を開始しました。

購入したイルミネーションは多種多様、職員が思い思いに装飾を施し、なかなかの出来映えとなりました。飾りは順調に進みましたが、正面玄関と病棟西側広場に設置した村山医療センター公式キャラクターの「ボーンちゃん」の作成はなかなか大変でした。村山のイルミネーションには欠かせないと考えたボーンちゃんですので最もこだわりを持って作成いたしました。3月頃までの設置を想定しているため、電源コードの防水加工などにも気をつかわねばならず、サランラップやエアコン用のパテを使用したりと四苦八苦でした。

毎日手が空いているスタッフがコツコツと飾り付けを行っていき、制作日数約1週間、材料費約48万円、作業人数12人を投入した「村山イルミネーション」は完成に至りました。まだまだ小さなイルミネーションではありますが、皆様のひと時の心の癒しに繋がれば幸いです。ぜひ夜の【村山イルミネーション】をご覧ください。



【Drama&Movie@村山医療センター】

庶務係長 大熊 康博

正面玄関を売店方面にまっすぐ進んだ廊下の左手に【Drama&Movie@村山医療センター】のコーナーがあるのをご存じですか？多くの俳優、女優さんのサイン色紙が華やかに飾られています。今回はドラマ・映画・CM撮影のメッカとなりつつある村山医療センターでの撮影について担当者から少しお話ししたいと思います。



まずはなぜここ数年で村山医療センターに撮影依頼が殺到するようになったか。現在のコロナ禍でどこの病院も撮影への協力が非常に難しくなっているのですが、当院は新病棟を建て替えたばかり。数年前まで使用していた病棟がそのまま使える状態になっています。また、病棟への導線が職員や患者と一切交わっていないため、撮影側としても当院としても非常に使いやすい構造になっております。現在は病院シーンの撮影の場合は「村山医療センターに電話してみなよ。」というのが業界内で広まっていると撮影スタッフから聞きました。ついでに担当である私の名前も広まっているそうです（笑）。

次に実際撮影を受け入れるにあたってのことをお話しします。

当院は原則として撮影使用料を徴収しておらず、代わりに条件を提示しております。

1つ目はエンドロール、クレジットに撮影協力として病院名を入れてもらうこと。これは病院の宣伝としての目的です。「どこかで見たことあるような・・・」って思っていたらエンドロールで「あ、村山だ！」ってなる方もいるかと思います。実際には一般の方よりも先にお話ししたとおり業界内での宣伝の方に役立っているのは予定外です。

2つ目は撮影している風景を希望した病院職員に見学させています。

谷戸院長発案で「コロナ禍で様々なことを我慢させ、負担を強いている職員に、少しでも楽しみとなるように。」と始めたこの企画ですが、予想以上に職員の反響が大きいです。憧れの芸能人を間近で見られるとのことで、人気の撮影では見学者を抽選とすることもしばしば。撮影隊も快く協力してくれ、見やすい位置を教えてくれることもあります。ちなみに感染対策として、密にならないように1回の見学は30分程度で、1組あたり3～4人程度です。

3つ目は病院宛に出演者のサインをもらっています。

いただいたサイン色紙を、職員、患者さんの見やすい位置に展示しようと、先日、オープンしたのが【Drama&Movie@村山医療センター】です。よりスタイリッシュにきれいなコーナーとしようと考え、サインは額に名前入りで入れて、当院で撮影した作品の宣材画像をその上に貼り、より注目度をあげるためスポットライトを設置しました。

また、最近では自転車事故で車いす生活となった、俳優・滝川英治の絵本デビュー作『ボッチャの大きなりんごの木』に直筆メッセージをいただき展示しています。

そうして完成したコーナーは前を通る人のほとんどが足を止めて見ていく、村山を代表するスポットとなりました。現在は16枚のサインを飾っていますが、まだ情報解禁前で飾れない色紙も多くあるため、順次更新していきますのでご期待ください。

↓公開可能情報で当院で撮影が行われたものです↓

タイトル	配給、配信	主な出演者
ノースライト	NHK	西島 秀俊、田中 麗奈、北村 一輝
殴り愛・炎	テレビ朝日	瀧本 美織、酒井 若菜
ヒミツのアイちゃん	フジテレビ	平 祐奈、佐藤 寛太、大和田 南那
マイダディ	映画	ムロツヨシ
警視庁ひきこもり課	テレビ朝日	滝藤 賢一
前科者	映画	有村 架純、磯村 勇人、森田 剛
生きるとか死ぬとか父親とか	テレビ東京	吉田 羊、國村 準、松岡 茉優
向こうのはて	WOWOW	松本 まりか
結婚できないにはワケがる	ABCテレビ	速水 もこみち、若月 佑美
東京・愛だの、恋だの	Paravi	松本 まりか、ファーストサマーウイカ
オクシブ製麺団	TBS	吉野 北人



高所作業車を使った撮影風景



当院スタッフがエキストラとして出演することがあります
※写真は説明を受ける当院スタッフ

撮影ウラ話をちょっと紹介

庶務係 坂田 優花

撮影は、ただ俳優さんを撮るのではありません。まず、少人数の撮影関係者のみで病院を下見し、撮影のシチュエーションや雰囲気と合っているか、どのように加工をして雰囲気を作るかなど、美術スタッフさんが話し合います。いつもスタッフさんが病室の写真撮影したり、部屋の細かな部分まで採寸を行っています。撮影ができそうになると、今度は撮影監督も下見に来て現場を確認するなど、撮影場所を決めるために一苦労です。

事務所に持ち帰ってから再び話し合い、決定となると今度は撮影のスケジュール調整となります。出演者やスタッフ、病院の都合で日程を決めますが、先日まで新型コロナワクチン接種行っていた関係で、日程調整がうまくいかず、なくなってしまった撮影も多くあります。

撮影当日は、スタッフさん達が朝早くから撮影場所の準備を行っています。当院は1941年創立の歴史ある病院ですが、それを感じさせない病院へとはやがわり。美術スタッフさんの力は本当にすごいものと感じます。準備が終わってもすぐに撮影とはなりません。段取りといってカメラは回さず監督の指導の下、俳優さん達が台詞や動きを確認します。うまくいけば、今度はカメラを回し画角を確認します。このように何度もリハーサルを行い、本番を行うのです。数々の撮影を見学している中で、一発OKはほとんどありません。何度も撮り直しを行い、私たちが目にするドラマや映画となるのです。撮影は長時間にわたりますが、実際に放映されるのはほんのわずかです。

病院の都合で時間外や休日に撮影を行うことが多いですが、その立ち会いも庶務係の仕事のひとつです。長時間にわたる立ち会いは大変ですが、たくさんの芸能人を生で見れるのはうれしいです。これからも撮影の立ち会いを頑張りたいと思います。



美術スタッフにより病棟の浴室が手術室にはやがわり



スタッフによる画角確認

自転車事故で車いす生活に、俳優・滝川英治の絵本デビュー作



パラリンピック開会式の出演でも話題になった俳優の滝川英治さんが初めて手がける絵本『ボッチャの大きなりんごの木』を刊行しました。著者の滝川さんは「リポビタミンD」のCMでデビュー後、ミュージカル「テニスの王子様」の手塚国光役でブレイク。その後、ドラマや映画、CMで活躍しますが、2017年にドラマ撮影中、自転車の転倒事故により脊髄を損傷し、車いす生活になります。そこから2年、懸命なりハビリによっ

て指先の感覚などを取り戻し、テレビ番組のMCで仕事復帰。また、何か自分が表現できることはないかと考え、スティックを口にくわえてタブレットで絵を描くことに。「どんな障害にぶち当たっても、必ず未来があるんだ」という力強いメッセージを込めて、絵本を描きました。ボッチャや仲間の動物たちを、生き生きとした筆づかいとカラフルな色彩で細部まで描き出した絵はもちろん、賑やかなレースシーンから一転、ボッチャの心を投影した幻想的な場面へと展開していく深みのあるストーリーも大きな魅力です。



村山医療
センター様
今できることを
焦らず諦めず
一步一步😊

ファイト！
一発！！
滝川英治

直筆メッセージをいただきました

【Drama&Movie@村山医療センター】で展示中

外 来 診 療 担 当 医 師

■ 一 般 外 来

※受付時間 (初診:8時30分～11時まで)
再診:8時30分～12時まで)

令和4年1月1日現在

診療科等	月	火	水	木	金	備考		
内科/リウマチ科	片寄	岡田	片寄					
泌尿器科	岡本 (午後)	岡本	岡本		岡本 (午後)			
外 科	大石	飯野	大石	飯野	大石			
整形外科	再 診	脊椎	◎竹光 ○○藤吉	◎谷戸 小林(喜) 加藤(貴) ◎松林 清水(俊)	◎山根 ○古川	○○許斐 ○矢内 佐々木	松川 ○○大久保 川野	◎脊髄損傷 ○側弯 脊椎・脊髄 (頸椎・胸椎・腰椎)
		関節	清水(英) 小林(洋) 刈谷		澤近	吉原	笹崎	股・膝関節・下肢
		手	加藤(直)	野村	加藤(直)		加藤(直)	手指・上肢
		一般						
	初診	交替制						
リハビリテーション科	富田	植村	松田		第1…鈴木/山内 第2…植村 第3…富田 (第4・5金は休診)			
歯 科	吉武 (第1・3・5週)	吉武 (第2・4週)	吉武	吉武	吉武	予約制		

■ 専 門 外 来 (全て予約のみ)

診療科等	月	火	水	木	金	備考
内科リウマチ				片寄 (13:00~)		予約制
装具外来 (リハビリ科)	リハビリ科医師 (13:00~)					予約制
禁煙外来		岡田 (午前11:30~)				予約制
側 弯	許斐 (第1週午後)		古川 (15:30)	矢内(15:00) 許斐(16:00)	大久保 (15:00)	予約制
骨粗鬆症・筋老化					竹光 (第1・2・3・5週 13:00-15:00)	予約制

※循環器科、泌尿器科、皮膚科、精神科については、一般外来を行っておりません。

診療について

診 療 日 月曜日～金曜日(祝日及び年末年始は除く)

診療受付時間 初診の方 午前8時30分～午前11時00分

再診の方 午前8時30分～午前12時00分

※急患は(整形外科) 随時受付けております。

専門外来については医事窓口にてお問合せ下さい。

毎月初めに保険証の提示をお願いします。変更のあった場合はお知らせ下さい。

独立行政法人国立病院機構 村山医療センター

〒208-0011 東京都武蔵村山市学園2-37-1

TEL 042-561-1221(代) FAX 042-564-2210

URL : <http://www.murayama-hosp.jp/>